

ブルネイ

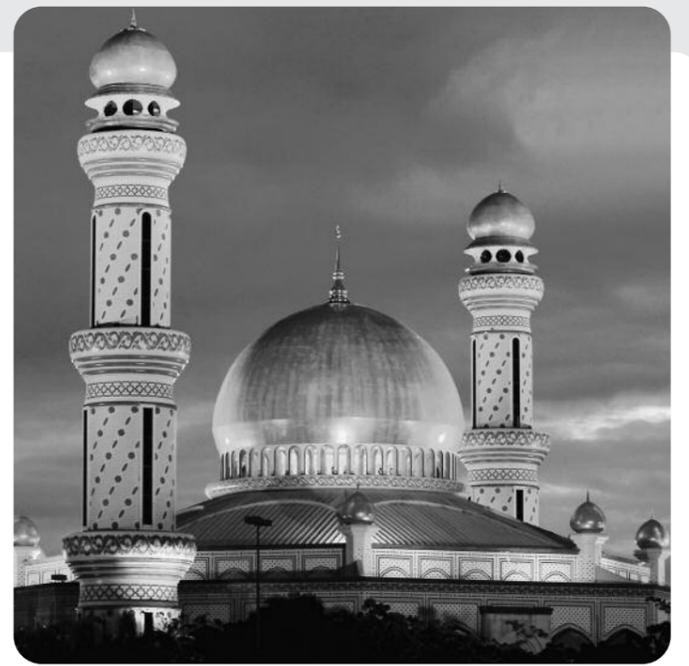
— 「魅惑の

特集

フレンドシップ国

との交流

— ブルネイ展」から —



ブルネイ大使館から代理大使が来館し大盛況で終えた「魅惑のブルネイ展」。そしてブルネイを知った皆さんは、ここから本当の友好が始まることでしょう。

きっかけ

ブルネイ（正式名称はブルネイ・ダルサラーム国）は瓦の輸出がきっかけで、2005年愛・地球博で高浜市とフレンドシップ国になり、地球博のブルネイデーではブルネイの人々との交流を深めました。



▲2005年愛・地球博ブルネイデーのステージ



▲瓦を使った建物（ブルネイ）

瓦の輸出は1980年ごろからはじまり、ブルネイの宮殿・官公庁・百貨店などいたるところで高浜の瓦が使われています。



教師をしている御夫人も大変楽しそうなお様子でした。



▲翼小学校

代理大使との交流
地球博フレンドシップ継承事業実行委員会主催で、「魅惑のブルネイ展」（かわら美術館で9月1日から16日まで開催された）オープニング式典では、国の代表としてマハディマイディン代理大使がお越しになりました。

▼交流レセプション



式典の前日には、市長を訪問した後、立ち寄られた翼小学校でも、子ども達の吹奏楽に感激され、豊田自動織機(株)を視察し、トヨタ生産方式の説明を熱心に聞かれました。

夜に開催された市民との交流レセプションでは、市の伝統文化の「えんちよこ獅子」が披露され、文化や産業などの話で交流を深めました。



▲豊田自動織機(株)を視察

「魅惑のブルネイ展」オープニング式典に代理大使は民族衣装のバジユマラユで、御夫人はバジユクロンで出席され、代理大使自ら楽器を弾き、民芸品など展示物の説明をしてくださいました。



▲展示物の説明

代理大使が楽器や漁具を手に取り熱心に説明されました

お互いの友好への思い

(展覧会あいさつから)

マハディマイディン代理大使
展覧会から友好関係が継続していることが確認でき大変嬉しく思います。市とブルネイの結びつきは、過去を振り返るだけでなく、未来を見据えることも大切です。このような展覧会などで皆さんに「ブルネイ」を知っていただき、新たな交流につながりますよう望みます。また、日本のどこかで展覧会が開催されることがあります。ぜひお立ち寄りください。

森 貞述市長

2005年に開催された愛・地球博の基本理念を継承すべく、瓦の取り持つ縁により高浜市のフレンドシップ相手国となったブルネイ・ダルサラーム国の全面協力によりこの展覧会が開催できたことに感謝します。

交流の基本は相互に相手のことを知り、理解することからはじめられます。展覧会が高浜市とブルネイ・ダルサラーム国の友好関係の一助となることを希望します。

ブルネイ・ダルサラーム国ってどんな国？



高浜市から約4、087 km離れたボルネオ島の北部にある国。三方をマレーシアに囲まれた国土面積は5、765キロ平方メートル(三重県くらい)、人口約38万人の小さな王国ながら豊富な石油と天然ガスに恵まれ、世界で最も豊かな国の一つです。天然ガスの年間出量の約9割は日本に輸出され発電などに使われています。みなさんの家庭の車にもブルネイの石油が使われているかもしれません。



国土の多くを覆う青々とした自然のままの熱帯雨林、都市にはイスラム教の伝統建築である高くそびえ立つモスク、600年にわたる王室の歴史を受け継ぐ王位の象徴自然、文化、遺産現代アジアの魅力が凝縮された宝物の王国それがブルネイ・ダルサラーム国なのです。



ブルネイ・ダルサラーム(平和の寄り住むところ)と書かれた国旗には、正義、静寂、繁栄と平和などの意味がこめられています。

